

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年06月24日(木)

事務事業		産業価値向上事業		担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3737	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有□	有□	
	行計画分野策別名	大項目	200003	活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令 個別計画等	6次産業化・地産地消法（略） 深谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略				
		中項目	200002	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり						
	小項目	200001	商工業の振興							
事業概要		本市産業ブランディング推進方針で掲げる、農業を核とした産業のブランディング『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、本事業においては產品の高付加価値化を実現する手段のひとつとしてふるさと納税を、また、地域内経済循環を高める取組として地域通貨戦略を展開する。								
目的 ※何のために		本市産業ブランディング推進方針で掲げる、農業を核とした産業のブランディング『儲かる農業都市ふかや』の実現を図り、本市産業の価値を高めること。								
対象 ※誰・何を対象に		市内農業者、商工業者、寄附者、地域通貨利用者								
手段 ※どのように		ふるさと納税のお礼品開発を通じた地域資源の掘り起こしや事業者間連携の促進、地域通貨戦略の実施								
成果 ※何を求めるか		ふるさと納税におけるお礼品開発の過程を通じた事業者連携と地域資源の魅力を高めること。また、地域通貨事業の継続的な運用を実現すること。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 市職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	産業価値向上事業	1,615,980,123
		一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	産業価値創出基金積立金	263,475,396
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ ふるさと納税に関する業務					・			
		・ 地域通貨導入に関する業務					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・ 深谷R&Sラボの実施 ・ アグリテック集積戦略の策定	・ 地域通貨導入へ向けた電子ブレ ミウム商品券実証実験	・ 地域通貨導入へ向けた実証実験 ・ ふるさと納税の推進	・ 地域通貨導入へ向けた実証実験 ・ ふるさと納税の推進	・ 地域通貨導入へ向けた実証実験 ・ ふるさと納税の推進
事業費	予算（現額） 157,483,000 決算額 148,119,626	218,198,000 144,953,961	608,196,000 607,075,420	1,936,191,000 1,615,980,123	533,785,000 0	533,785,000 0
財源内訳	国支出金 0 県支出金 9,500,000 地方債 0 他特定財源 7,030,000 一般財源 131,589,626	0 0 0 47,411,000 97,542,961	0 0 0 286,148,000 320,927,420	367,853,000 0 0 1,060,010,620 188,116,503	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
人件費	従事職員数(人) 0 人件費相当試算 ※1 0	1.50 11,673,000 0	1.80 14,589,000 0	2.70 21,967,200 0	2.50 20,340,000 0	2.50 20,340,000 0
(総事業費試算)	148,119,626	156,626,961	621,664,420	1,637,947,323	20,340,000	20,340,000

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	産業価値向上事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3737
<div><div><input type="checkbox"/> ① 現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ② 見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？		評価者 産業ブランド推進室長 柴野 晃彦					
評価の内容説明		ふるさと納税は、生産者や事業者との連携により、参加事業者数を増やすことができた。寄付金額については目標金額を上回る一方で、前年度からは減額となったため、寄附金額の増に繋がる取組を展開できるようにする。					

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	ふるさと納税については、寄附者への接触回数を増やすためポータルサイトの追加を検討し、寄附金額の増へとつなげていく。
--------	---

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	ふるさと納税については、寄附者への接触回数を増やすためポータルサイトの追加を検討し、寄附金額の増へとつなげていく。地域通貨については、普及・継続のため、各種メディア等での周知や関係団体等との協力により、販売額の増加や、取扱店舗数の拡大に努めていく。
-------	--

9. 評価指標グラフ

